

非常用発電機内覧会 2016 in 北海道

デンヨー株式会社

デンヨー株式会社の非常用発電機内覧会が7月12日、13日の2日間にわたり北海道札幌市のデンヨー株式会社札幌営業所にて開催された。

両日は好天にも恵まれ、約70社、約190名の来場者があり、4月に熊本地震が発生した事や、近い将来必ず発生すると言われている南海トラフ地震、首都直下型地震等への備えとして非常電源の重要さが再認識されつつあることがうかがえた。

内覧会では国内で初となるLPガスを燃料とした防災用自家発電装置である「LEG-40SSGF」をはじめ、プロパンガスを燃料とする「GE-900P (0.85kVA)」等のポータブル式発電機、軽油を燃料とする防災用自家発電装置「DCA-65SSGF」等の自家発電設備、三相・単相同時出力機「DCA-60LSIE-D」等の可搬形発電設備、さらに関連する製品として燃料タンクと防油堤が一体となった油庫、LPガスバルク貯槽、負荷試験用の疑似負荷装置等さまざまな製品が展示された。

特に、LPガスを燃料とする発電装置は災害時の燃料入手性に優れている事、小型機種では56dBという超低騒音を達成している事から関心が高まっている。

屋外における展示として、超低騒音型電源車の展示があった。発電機2台をトラックに架装し並列運転による無停電電源としてイベント用などに活用されている。発電装置自体がボンネットに覆われている事、さらに発電装置2台を1つの防音箱に収納されていることから64dBという超低騒音を達成している。



ポータブル式プロパンガス発電機



超低騒音型LPガス非常用自家発電装置



950L油庫



製品の説明を受ける来場者



超低騒音型電源車